

令和3年度 本丸中学校グランドデザイン

教育目標 錬磨し 協調し 創造する生徒

【目指す生徒像】

【地域・保護者・教師共通の願い】

- ・ 善悪の判断・正義感
- ・ けじめある言動
- ・ 思いやりの心
- ・ 規律ある集団生活

- 生き方を考え、より高い価値を求め続ける生徒
- 自他を敬愛し、互いに高め合う生徒
- 諸活動に真剣に取り組み、力を伸ばす生徒

【保護者が望むこと】

- ・ 学力向上
- ・ 魅力ある授業
- ・ 人間的な成長
- ・ 良好な人間関係

確かな学力の育成

- 「できる、分かる」を実感して学習している生徒の割合を85%以上にします。
- 平日、1時間以上家庭学習をする生徒を70%以上にします。
- Web配信問題において各教科、60%以上のクラスが県平均を超えるようにします。

心の教育の充実

- 学級や学校の中で自分が「認められている」と感じる生徒の割合を85%以上にします。
- 学校生活の中で「ルールやきまりを守り、協力して生活している」と感じる生徒のA評価の割合を65%以上にします。
- いじめを見過ごさない生徒を100%にします。

健康体力の増進

- 体力テストで年度末に向上した生徒を80%以上にします。
- 健康な体づくりのために、規則正しい生活を心がけている生徒の割合を80%以上にします。
- 食の大切さがわかり、好き嫌いせずに給食を完食できた生徒の割合を80%以上にします。

研究主題

自己有用感を育み、互いに認め高め合える生徒の育成

～ 学級の所属感を高める取組の充実をととして ～

学力向上プロジェクト

学習推進

- ・ 授業では「めあて」を提示し、すべての生徒が見通しをもって学習に参加できるようにします。
- ・ 授業では仲間と関わり合って学ぶ場面を意図的に設定し、学習意欲の向上と学力の定着につなげられるよう全職員で授業改善に努めます。
- ・ 各種テスト等を活用し、教師の授業改善と生徒の学力向上を目指します。
- ・ 「自学ノート」の取組を継続し、家庭学習の習慣化を図ります。
- ・ 新学習指導要領完全実施をふまえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、全教職員で「授業改善」を行います。

豊かな心育成プロジェクト

心の教育・生徒指導推進・特別活動推進

- ・ 全教育活動をととし、相手の個性や立場を思いやり、互いに認め合い、協力する態度を育てます。
- ・ 生徒一人一人との関わりを大切にし、共感的信頼関係に基づいた生徒への支援を行います。
- ・ 問題の早期発見と不登校生徒数の減少を図り、楽しく居心地の良い学校づくりを目指します。
- ・ 生徒の自主的な活動を中心とする「いじめ見逃しゼロスクール」の取組を継続的に全校体制で行います。
- ・ 日常の課題をPDCAサイクルで解決するための学級活動を支援し、生徒の自治的な力を高めます。

食と健康・体力向上プロジェクト

健康推進

- ・ 健全な食生活につながる「食育」を栄養教諭と連携しながら計画的に実践します。
- ・ 体力テストの結果から、生徒の実態を把握し、課題解決に向けて授業改善に取り組みます。
- ・ 体を動かすことの楽しさを感じることが出来る授業づくりに努めます。
- ・ 保護者、医療機関、相談機関と連携し、自立的で健康的な生活を送ることができるよう支援します。
- ・ 食、生活リズム、メディアとのより良い関わり方について、生徒会専門委員会が主体となって取り組みます。

小学校との一貫した教育

- ・ 互いの授業参観や「出前授業」などとおして、小中連携して学習習慣の確立や学力向上に取り組みます。
- ・ 小中合同の活動等を行うことにより、9年間を見通しながら児童・生徒の社会性育成を推進します。
- ・ 小学校から継続した、学校教育全体で行うキャリア教育の視点に立った活動の充実を推進します。

家庭・地域との連携

- ・ 学校関係者評価委員会、PTA 理事会等で有効な意見交換を実施していきます。
- ・ 学校行事の様子、学校評価結果などをたより等で発信します。
- ・ ホームページ、携帯メール等で情報提供を図ります。
- ・ 保護者・地域と連携して、中庭など校内の環境整備に取り組みます。
- ・ 家庭・地域・産業界等と連携して、「しばたの心継承プロジェクト」やキャリア教育に取り組みます。